款	2	総務費	項	1	総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
			目	40	新型コロナウイルス臨時交付金事業費	265,292千円	206,069千円

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、以下の事業を行った。

個人を対象とした事業（4事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
①町指定ごみ袋配布事業	205千円	生活支援、感染症感染予防のために、各家庭へ町指定ごみ袋（大・25枚）を配布した。	ごみ袋にコロナ関連ごみを詰め込みすぎないことで破裂等を防止し、感染予防が図られた。
②【令和2年度繰越】生活支援・消費喚起北栄商品券配布事業	14,574千円	生活支援・消費喚起のため主に町内で使用できる「ふるさと応援ほくえい商品券」（1人10,000円分）を配布した。	コロナ禍における生活費の支援につながった。（アンケート結果：80%超が生活支援、消費喚起につながったと回答）
③成人式コロナ対策事業	1,728千円	8月と1月に開催する成人式の参加者に対し事前のPCR検査を行った。	感染拡大防止を図るとともに安心して式典に参加してもらえた。
④県外活動PCR検査実施事業	44千円	県外に出張した小中学校教職員の帰鳥後のPCR検査を行った。	小中学校における感染拡大防止を図ることができた。

事業者を対象とした事業（7事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
⑤必要物品供給事業	682千円	町内居宅事業所等に自宅訪問の際に携行できる消毒液とポーチのセットを配布した。	訪問事業者・受入家族がともに安心・安全な状況で面談することができた。
⑥新型コロナ対策利子補助事業	815千円	新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。申請：41件	事業継続を支援できた。
⑦【令和2年度繰越】農林水産物流通改善支援事業	1,648千円	町の特産品をPRするため、町内の民間活力を利用した農産物PRのパンフレット、動画を作成した。（大栄西瓜、らっきょう、ねばりっこ、ぶどう）	コロナ禍の販売支援につなげた。
⑧町内消費拡大支援事業	21,830千円	商工会に対し、キャッシュレス決済・地域活性化ポイントカード事業（ほくほくカード）の普及推進に係る事業として、新規加入キャンペーン並びに地元応援キャンペーンの付与ポイント分を補助した。 （令和4年3月末現在） 【ほくほくカード】 利用者数：4,383人 利用金額：134,762,008円	町内における消費拡大を促進し、町内事業所の事業継続・支援に繋がった。

事業名	決算額	事業概要	成果
⑨新型コロナ対策 利子補助事業基金 積立金事業（後年 度負担分）	47,711千円	新型コロナウイルス感染症の 拡大により深刻な影響を受け ている中小事業者への利子補 助事業の財源に充てるため、 基金を積み立てた。	今後の利子補助について確実 な執行を担保することができ た。
⑩事業継続応援事 業	42,800千円	新型コロナウイルス感染症の 影響の長期化に伴い、減収の 影響を受けた町内に事業所を 有する中小企業者等へ補助金 を交付することにより、事業 の継続を支援した。申請：139 件	事業継続を支援できた。
⑪福祉関係事業所 等コロナ対策支援 金事業	3,800千円	厳しい感染防止対策をしながら 事業を継続する福祉関係事 業所等を支援するため、感染 予防のための設備・備品等の 整備費等に対して助成した。 申請：38件	パーティションの設置やマス ク、消毒液、空気清浄機など が整備され、事業所における 感染防止対策が図られた。

農業を対象とした事業（8事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
⑫緊急雇用対策農 林水産ささえあい 事業	2,378千円	新型コロナウイルスの影響に より休業等となった業種の従 業員の農家への雇用につい て、雇用労賃等の支援を行っ た。 申請：4人 雇用支援：24人	対象者の所得の安定を図るこ とができた。
⑬地元産材活用支 援事業	2,240千円	地元産材の消費拡大、地産地 消による食育のため、町内産 食材を給食で使用した。	消費拡大や生徒への食育を図 ることができた。
⑭肉用牛肥育緊急 支援事業	187千円	和牛肥育農家の経営安定のため、 肉用牛肥育経営安定対策 （牛マルキン）を拡充した。 ※標準的販売価格が標準的生 産費を下回った場合に、その 差額の9割が国の牛マルキン制 度で補償されるが、補償され ない部分（補てん差1割部 分）について1/4を補助し た。	生産者の負担を軽減し、営農 の継続を支援できた。
⑮肉用牛肥育経営 安定交付金（牛マ ルキン）積立金支 援事業	2,414千円	和牛肥育農家の経営安定のため、 肉用牛肥育経営安定対策 （牛マルキン）を拡充した。 ※牛マルキン制度による補償 金造成に必要な生産者積立金 について1/3を補助した。	生産者の負担を軽減し、営農 の継続を支援できた。
⑯地域の名産品魅 力発信事業	1,179千円	大栄西瓜のカット販売用の シールを新たに作成し、新型 コロナウイルス禍での販売支 援を行った。	事業継続を支援できた。

事業名	決算額	事業概要	成果
⑰食と農の魅力創造支援事業	200千円	町内農産物を活用した加工品・メニュー開発を行う事業者に対し、事業費の1/2（上限20万円）を補助した。	加工に使用する機械等の導入により、加工品の増産・加工品の販路拡大につなげた。
⑱グルメストーリーキャンペーン負担金事業	269千円	コロナからの需要回復に向けて、地元需要喚起を促すことを目的として、山陰道を結ぶ3町を「食」でつなぎ、各町の食の特産品のPRも兼ねて、住民参加型のスタンプラリー形式で企画された。参加：8店	それぞれの店舗の特色を生かした「食」を提供し、各種需要喚起に貢献した。
⑲収入保険加入促進事業	580千円	収入保険新規加入者1人あたり20,000円のキャッシュバックを行った。	新型コロナウイルスによる売り上げ減少に耐えられる農家の育成に貢献した。

環境整備に関する事業（12事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
⑳新型コロナウイルス感染症対策事業	4,413千円	感染対策用の物品・備品を購入した。 ・消毒液、フェイスシールド 618千円 ・郵便料金計器 3,795千円	各施設、業務等での感染予防を強化することができた。また、業務を行う上での感染に対する不安軽減につながった。
㉑GIGAスクール構想整備事業	302千円	オンライン授業のための貸出し用モバイルルーターを購入した。 ・端末代 10台 196千円 ・手数料、利用料 106千円	WiFi環境の無い家庭への貸出し用にモバイルルーターを購入し、コロナによる臨時休校時も学習機会を確保する体制を整えることができた。
㉒修学旅行負担軽減事業	796千円	修学旅行時のコロナ対策費用として補助金を交付した。 ・小学校（1校）176千円 ・中学校（2校）620千円	バス・ホテル等での密の回避を図ることができ、感染防止対策に繋がった。また、費用の増額部分を補助し、保護者負担の軽減を図ることができた。
㉓公共的空間安全・安心確保事業	1,584千円	顔認証体温検知カメラを購入した。 ・12台 1,584千円	中央公民館や支所、こども園等各施設に配置し、施設内の感染防止対策が強化され、安心の確保に繋がった。
㉔給食センター環境整備事業	729千円	調理場内の複数人が使用する自動水栓になっていない箇所を自動水栓（混合）に改修した。	非接触の設備とすることで施設内の感染防止対策を強化することができた。
㉕議会マイク機材等整備事業	1,672千円	議会常任委員会など各会議で作成する会議録の作成のための1人1本のマイク等を整備した。	感染対策を徹底することができた。また、会議録の作成を効率よく行うことができるようになった。

事業名	決算額	事業概要	成果
②⑥リモート会議・テレワーク推進事業	17,954千円	分散勤務環境を整備した。 ・議会用タブレット 40台 6,259千円 ・分散勤務用PC 40台 4,787千円 ・Wifi、コンセント等工事 2,110千円	リモート・テレワーク勤務の環境が整い、運用開始ができた。これにより、行政運営における感染拡大防止が強化され、緊急対応が可能となった。
②⑦こども園ICT化事業	6,444千円	感染症対策、分散勤務対応のためこども園業務のICT化を行った。 ・タブレット 32台 3,908千円 ・こども園(4園)Wi-Fi設備設置工事 2,145千円 ・インターネット回線使用料 40千円 ・ICTシステム委託料 352千円	タブレット導入により、研修時や自宅勤務時などに活用することで、感染症対策を行いながらこども園の通常業務、運営を行うことができるようになった。
②⑧こども園感染症対策事業	301千円	感染症対策強化のため、こども園の園児用机を少人数で利用できるよう机の台数を増やした。(年長児対象) ・4人用机 12台	園内の感染防止対策を強化することができた。
②⑨上下水道料金コンビニ収納システム導入事業	1,200千円	水道料金及び下水道使用料のコンビニ収納を導入し、非接触決済の推進及び収納窓口の拡充を行い、利用者への利便性を高めた。	対面、訪問徴収の機会を少なくできる体制が整備できた。これにより、今後の感染防止対策強化に繋がった。(運用開始R4.4~)
③⑩図書館感染予防対策事業	3,852千円	安心して図書館を利用できる環境を整備した。(本館) ・トイレ照明センサー式設置 ・ベビーケアールーム(授乳室)設置	施設内の感染防止対策を強化し、安心・安全な読書環境を提供できた。
③⑪図書システム機能強化事業	21,538千円	安心・安全な環境整備と在宅時間の増加に伴って高まる読書需要に応えるため、自動貸出機を導入した。 ・本館2台・北条分室1台	接触機会を減らす等、安心・安全な読書環境を提供できるようになった。(利用者の約8割の利用実績あり。)